

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

## CONTENTS

巻頭特集

### ヒマワリ栽培 種から食用油

ふくしの逸品—上越（2・3面）

- 県北豪雨災害ボランティアセンター設置
- 9月から3会場で福祉・介護・健康フェア
- 緊急小口資金貸付等9月末まで受付延長

9月号  
2022  
第841号

絵 「トーテムポール」  
作家・佐藤葉月（妙高市）



<作者一言> そう言えば最近、トーテムポールって見ないな…



福祉にいがた  
バックナンバー  
こちらから



社会福祉  
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp/>

今年もヒマワリが咲きそろった、諏訪小学校前のファームは7月27日



巻頭特集

# ヒマワリ栽培 集落に黄の大輪

障がい者が作る

ふくしの

逸品

拡大版

真夏の太陽、青空、黄色い大輪、緑の葉。上越の大地に今夏もヒマワリが咲きそろい、原色の色彩模様が広がりました。

## 取り組み10年 畑は計2ヘクタール

### 食用油作りも軌道に

ヒマワリ畑が広がるのは「つくし工房」のある、上越市の諏訪地区（北新保と南新保などの集落）です。そこは旧地域の東部、旧三和村に程近い平場の農村地帯です。

「つくし工房」は「就労

つくし工房

（上越市）

継続支援B型」など3事業を運営。精神に障害のある10代〜70代の約60人が登録し、主にパン・菓子製造販売や段ボール箱組み立てなどの軽作業をします。

7月末、諏訪小学校の道路向かいにあるファーム（畑）ではヒマワリが2メートル近い高さで咲きそろっていました。別のファームでは、

植えたばかりのヒマワリが茎と葉を伸ばし成長中で、利用者たちが周辺の草取りに汗を流しました。

【障害者サービス事業所「つくし工房」】運営は社会福祉法人「上越つくしの里医療福祉協会」（川室優理事長）。「住所」〒943-10109 上越市北新保557-1 【電話】025（520）3294



ヒマワリの周りで草取りする利用者さん=7月27日

「つくしファーム ひまわり畑」は主なもの4箇所、広さは計2ヘクタールと法人本部参事の田邊信さん。

福祉事業所としてはあまり例がないというヒマワリ栽培に取り掛かったのが10年前。高齢化や人口減少が進む地域の活性化を狙い、休耕畑を活用し、栽培を始めました。

平成26年、工房の運営法人の川室優理事長が「種から油が採れないか」と発案。先進地の長野県富士見町に出向いて搾油施設などを見学しました。

（3ページへ続く）

(2ページから続く)

これを機に、ヒマワリの油糧用品種・春りん蔵の栽培を始め、平成27年に300キの種を収穫。年によって増減がある

ものの令和3年には種400キを収穫。栽培経験を積み重ねていき

ました。さらに、栽培と搾油に追い風が吹きました。

農林水産省交付金を受けて令和2年2月、搾油機を備えた作業所がファームの一角に完成しました。それまでは採れた種を長野県富士見町へ送って、搾油を依頼しましたが、栽培から搾油までの一貫生産が可能になりました。搾油量は令和2年が41キ、令和3年が67

## 搾油機導入 作業施設造る 「種」活用 地域と交流も



ファームに建つ、搾油機を備えた作業施設

キロでした。

採れたひまわりオイルを「ひまわり日和」のブランドで販売します。さらに、地元の味噌蔵とのタイアップ商品の開発にも取り組みます。「栽培から加工製造、販売までを手掛ける6次産業化を目指したい」と田邊さん。

課題もあります。すべて手作りの「ひまわりオイル」は食用油としては割高な価格です。どうすれば価格引き下げできるか。田邊さんは「例えば分散するファームが集中型なら経費削減できるなど、工夫すべき部分はある」と話します。

一方で、地域との「つながり」を強める活動もスタートしました。「つくしひまわりにつこりプロジェクト」です。「種を住民に

提供してヒマワリを育ててもらいます。種が採れたら返してもらい、工房がオイルに加工するのです」ヒマワリの種が地域と工

房を行き来してもたらず花咲く風景と「ひまわりオイル」。地域住民と工房をつなぐ絆が、ヒマワリを通じて育ちつつあります。

### ひまわりオイル

太陽のエネルギーを凝縮したような、美しく透き通る黄色い。

上越で育ったヒマワリの種から採取した「ひまわり

オイル」は香

ばしいナッツ

の香りが特長

です。悪玉コ

レステロール(LDL)を上昇させないといわれるオ

イレン酸や、強い抗酸化作

## ナッツの香り特長

### クッキークッキーやドレッシングに

な食用オイルです」と法人本部参事の田邊信さん。

ドレッシングやクッキー、シフォンケーキなど

の材料として人気が出始め、リピーターもいます。

工房は、ひまわりオイルの愛用者を増やそうと「レシビブック」を作りました。

「鶏ごぼう巻き」「きゅうりドレッシング」「バナナシフォンケーキ」など12品目

を紹介しています。

「ひまわりオイル」は「つくし工房」のほか、農産物販売・旬菜交流館「あるるん畑」(上越市大道福田)

などで販売。値段は税込みで95グラム入りペットボトルが1000円、180グラム入り

ビンが2200円。

また、地元

の味噌蔵とタイアップ。味噌だまりなどをひまわりオイルにブレンドした「ひまわり畑のたまりソース」(148グラム)なども開発しています。

たまりソースは「プレーン」(680円)、「バジル風味」(しょうが・柑橘風味) (ともに730円)の3種類。サラダドレッシングや野菜炒めやうどん、焼きおにぎりの味付けに、ひまわりオイルはいかが？



㊦＝「ひまわりオイル」180㊦入りビン。  
㊧＝白い皿に映える、黄色いオイル

# 15日「老人の日」15～21日「老人週間」

## 築こう健康長寿社会



高齢社会対策基本法に基づく「高齢社会対策大綱」は、すべての年代の人々が希望に応じて活躍できるエイジレス社会を目指しています。人生100年時代、健康で生きがいのある健康長寿社会の構築が急がれます。

9月第3月曜の祝日「敬老の日」が今年は19日です。一方「老人の日」は9月15日で、この日から1週間が「老人週間」（9月15日～21日）と定められています。国や全国社会福祉協議会、長寿社会開発センター、全国老人クラブ連合会などは高齢者の人権尊重などの啓発へ、期間中のキャンペーンの実施を、呼び掛けています。「みんなで築こう 安心と活力

ある健康長寿社会」が標語です。キャンペーンの目標には「すべての高齢者が安心して暮らせるまちづくり」「高齢者の社会参加・ボランティア活動の推進」「高齢者の人権の尊重」などの6項目が掲げられています。今夏は新型コロナウイルス感染拡大の第7波が猛威を振るったため、キャンペーン実施には感染防止への配慮が欠かせません。

## 9月は「県自殺対策推進月間」

# 「たった一つの命」守ろう

新潟県は9月1カ月間を「自殺対策推進月間」と定め、自殺予防啓発活動を展開します。自殺対策基本法では9月10～16日が「自殺予防週間」と定められています。この期間を、県は独自に9月1カ月間へ拡大し自殺対策に取り組みます。

和3年の自殺死亡率は本県が19.8。全国平均16.5よりも高くなっています。また、県内の令和3年の自殺者数（概数）は428人、前年より15人増えました。期間中、県はWeb広告やテレビ、ラジオなど多様なメディアを活用。「たった一人のあなたです。たった一つの命です」をキャッチフレーズに、民間とも連携して「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指します。



新潟県こころの相談ダイヤル  
(365日24時間対応)

0570-783-025

# 「福祉・介護・健康」フェアに復活

9月長岡皮切り

10月上越

11月新潟

## 地域共生社会テーマに

地域共生社会づくりをテーマに掲げる「福祉・介護・健康フェア」が9月～11月、長岡と上越、新潟の3会場で開催されます。この催しは過去2年間、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため規模を縮小したイベントとして開催されましたが、今秋は3年ぶりに「フェア」にカムバック。規模を戻しながら地域共生社会づくりを呼び掛けます。フェアは新潟日報社と県社会福祉協議会、開催地の3市社協が主催します。（イベント内容は変更になることがあります。ご了承ください）

### 長岡会場

#### セミナーなど中心に

長岡会場は9月18日～24日、新潟日報長岡支社メディアぷらっと（千歳一）がメイン会場です。

18日（日曜）に「認知症サポーター養成講座」「口腔ケアセミナー」。19日（敬老の日）は「メンタルヘルス講演会」「介護セミナー」「マネーセミナー」です。23日（秋分の日）は「認知症」「成年後見制度」の講演会、24日（土曜）は「嚥下食セミナー」「終活に



ごぼう先生の指導で体操する客席＝令和3年、上越会場

役立つ相続・相続税セミナー」です。

このほか、18日にNIC健康セミナーやウオーキングイベントもあります。期間中、長岡市社会福祉センター「トモシア」（表

町2）では障害者の美術作品展示もあります。

### 上越会場

#### ごぼう先生再び来演

上越会場は10月22日（土曜）、上越市の高田城社公園オーレンプラザで開催。

「認知症に優しいまち」がテーマのパネルディスカッションに、地元・上越市の県立看護大准教授や地域共生デイサービス施設管理者らが議論します。ステージイベントでは愛知県立盲学校教員でパラ五輪銀メダリストの廣瀬誠さんが講演します。

「シニア世代の体操のお兄さん」として知られ、昨

年の講演会も大人気だった「ごぼう先生」こと、築瀬寛さんが今年も上越会場に駆け付け、健康体操を楽しく教えます。

ほかに「認知症サポーター養成講座」「農福マルシェ」などもあります。

### 新潟会場

#### 恒例、遠藤麻理さんら

11月26日（土曜）、新潟市産業振興センター（中央区鐘木）で開きます。

ステージでは3年連続ですっきりおなじみの、フリーアナウンサー遠藤麻理さんと元宝塚歌劇団の越乃リュウさんのトークショーが今年もあります。どんな掛け合いで楽しませてくれるでしょうか。今年は事前申し込み不要で、客席の用意は150席です。

このほか「農福マルシェ」「こども体力測定」「福祉の相談コーナー」など、多彩なイベントで令和4年のフェアを締めくくります。

令和4年度

📄 ホームページでも内容を紹介しています  
<https://www.fukushihoken.co.jp>

# 全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

## セットプラン

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン		基本セットプラン	天災セットプラン	
身体賠償 (1名・1事故)	1億円・7億円	2億円・10億円	園児の傷害事故に対応	死亡保険金	121.2万円	108万円
財物賠償 (1事故)	1,000万円	1,000万円		後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%~100%	
受託・管理財物賠償 (期間中)	200万円	200万円		入院保険金 (1日あたり)	1,700円	1,500円
うち現金支払限度額 (期間中)	20万円	20万円		手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍	
人格権侵害 (期間中)	1,000万円	1,000万円		通院保険金 (1日あたり)	1,100円	1,000円
事故対応特別費用 (期間中)	500万円	500万円		天災補償	なし	あり
被害者対応費用	1名につき 1事故	5万円限度 10万円限度				

## 個別プラン

### プラン1 保育所業務の補償

#### ① 基本補償

- オプション1 ● 地域子育て支援拠点事業等補償
- オプション2 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償

#### NEW

#### ● オプション5 施設の感染症対応費用補償

- 休業補償から各種対応費用までワイドな安心
- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
  - ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用などの費用を幅広く補償
  - ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

#### ② 個人情報漏えい対応補償

#### ③ 保育所の什器・備品損害補償

新型コロナウイルスを含む特定感染症に対し、新たなオプションが追加されました



### プラン2 保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

### プラン3 職員等の補償

- ① 職員の労災上乗せ補償
- ② 役職員の傷害事故補償
- ③ 役職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償

### プラン4 法人役員等の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「保育所・認定こども園の損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJT1-12225 から抜粋)

緊急小口資金

総合支援資金(初回)

緊急小口資金等特例貸付

## 9月末まで受付期間延長

新潟県社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯へ、市区町村社会福祉協議会を窓口「緊急小口資金等特例貸付」を実施しています。この緊急小口資金等特例貸付の受付期間が延長されました。

一時的な資金を貸し付ける「緊急小口資金」と、生活の立て直しを支える「総合支援資金(初回)」の受け付けは令和4年9月末までとなりました。

新型コロナウイルス感染症はまだまだ県民生活に大きな影響を与えています。生活上のお困り事を含め、貸し付けのご希望については、お住まいの市区町村の社会福祉協議会へご相談ください。

### ホームヘルパー支援基金

## 助成希望団体を募集

#### 基金の名称

公益信託 JAバンク新潟県信連  
創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金

#### 助成対象者および助成対象事業

次の活動を行う社会福祉法人、公益法人、ボランティア団体(ただし、設立後3年以上経過し、概ね10人以上の構成で営利を目的としないものに限る)を助成対象先とします。

- ①ホームヘルパーの活動および当該活動を支援する設備の整備等の実施(活動拠点の事務機器・冷暖房機器等の電機機器、ホームヘルプ活動に必要な車両・用具等の購入に要する費用の助成)
- ②ホームヘルパーの資質向上のための各種事業の開催等の実施(ホームヘルパー養成研修会等の運営・設営に要する費用の助成)
- ③その他目的を達成するために必要な事業への助成

#### 助成金の額

上記①については、原則として1件当たり75万円を限度とし、②については、原則として1件当たり25万円を限度とします。

- \* 助成金の額は、対象費用全体の70%以内とします。
- \* 助成金は返還の義務はありません。

#### 応募方法

助成を希望の方は、所定の助成金交付申請書を次の当基金受託者宛に請求していただき、必要書類添付のうえ応募願います。

〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町2-2-1  
KANDA SQUARE 5階

農中信託銀行 営業推進部  
[JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金]係まで  
TEL 03-5281-1420

#### 募集期間

令和4年9月1日(木)～11月30日(水)(当日消印有効)

#### 選考方法

当基金の運営委員会において、当基金の趣旨・目的に照らし、活動の内容・効果の大小等を総合的に勘案して選定いたします。

なお、助成金額に制限がありますので、選考の結果残念ながら助成を見送らせていただくことがあることをご理解ください。

#### 《本件に関するお問い合わせ先》

- ・農中信託銀行 営業推進部 TEL 03-5281-1420
- ・新潟県信用農業協同組合連合会 経営企画部 TEL 025-230-2111

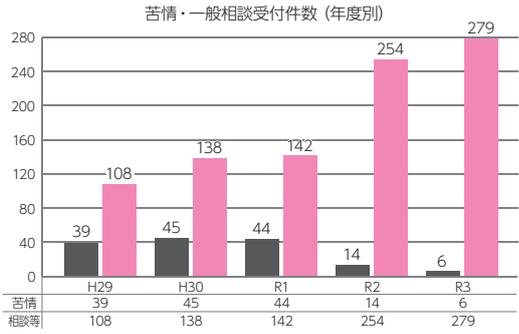
## 令和3年度 苦情・相談の状況

新潟県福祉サービス運営

適正化委員会に寄せられた、令和3年度「苦情・相談」状況がまとまりました。

## 苦情6件、相談279件

令和3年度、委員会に寄せられたのは「苦情」が6件、「相談」が279件でした。



令和2年度からみると、

減少傾向の続く「苦情」はさらに減少し、一方で「相談」は増加しました。

新型コロナウイルス感染拡大が始まった令和2年以降同様の傾向が見られます。

「苦情」が減少している理由として、新型コロナウイルス感染防止のため「施設の面会制限」「保護者会や各行事の休止」などにより、苦情になりかねない事柄を家族などが認識する機会が減っているとみられます。

苦情解決ルール作り  
利用者への説明大切  
事業所の必要な対処

「苦情は運が悪かった」と考える事業者もいて、改善の必要性を実感していな

いケースもあります。このため、事業者は発生事案の責任問題だけでなく「利用者は問題解決のパートナーである」と理解することが必要です。

事業所としては苦情解決のためのルールを作り、事前に第三者委員を設置しておく必要があります。利用者に対しては契約時などに、これらのことをあらかじめ説明しておくことが大切です。

また、平日頃から利用者が事業所に対して話しやすい環境をつくることも欠かせません。

## お気軽にご相談ください

新潟県福祉サービス運営適正化委員会

025-281-5609

相談時間 月～金 9:00～17:00

E-mail: kujou@fukushiniigata.or.jp

## 身近な苦情の例

デイサービスを利用  
祖母の補聴器壊れた

## 【申し出内容】

祖母が、利用していたデイサービスから帰宅したところ、補聴器が壊れていた。それ以降、事実関係の確認や補償などの話し合いをしていたが、なかなか解決しなかったため、事業所の第三者委員も交えて話し合いを続けた。その後、事業所の苦情解決責任者から「第三者委員からの助言」として和解金が提示された。しかし、口頭で説明されただけで、本当に第三者委員の助言なのか、不信感が拭えない。

書面で解決案  
示さず誤解か

## 【確認内容】

運営適正化委員会が事業所に確認したところ、第三

者委員を設置してはいるものの、これまで委員が助言案を示した例が無かったため、他のケースをネットで調べて「助言案」を示した。その際、相手方に書面で示さなかったため、誤解を生む原因となったとみられる。

## 【解決案】

事業所には「新潟県福祉サービス運営適正化委員会が推奨する様式を使用する」ことを提言し、この対応に、申し出人から理解を得た。



◆お知らせ◆「福祉サービス事業者のための苦情解決の手引き（資料集）」Ⅱ写真Ⅱを新潟県運営適正化委員会のホームページに掲載しています。ご活用ください。

## 県北豪雨

# 災害義援金を募集

## 県共募 被災者へ心からお見舞い

8月3日から村上市や関川村などの県北地域を襲った豪雨により被災された皆様方に対して、県共同募金

会として心よりお見舞い申し上げます。

雨災害により甚大な被害を受けた県内被災者を支援するため、災害義援金を募集しています。ご協力をお願い

様方に対して、県共同募金

県共同募金会は、県北豪

いします。義援金の受付口座は次の通りです。

金会令和4年8月大雨災害義援金

▽第四北越銀行白山支店  
普 1590791

本年度新テーマ型募金

▽大光銀行新潟支店  
普 3043002

9月9日から募集

以上「口座名義」社会福祉法人新潟県共同募金会

新潟県共同募金会は、令和4年度「いがた・新テーマ型募金」の助成対象となる、団体実施の事業の募集を開始します。募集期間は9月9日～10月7日、募金活動期間は令和5年1月1日～3月31日です。

▽ゆうちょ銀行  
【記号番】001801  
4-605183

この募金は、助成を希望する団体が活動やテーマを掲げ、それに共感する人たちから寄付を募ります。

【口座名義】新潟県共同募

## 「新テーマ型」助成活用 中3年に「相談カード」

### 新潟いのちの電話が配布

うごき  
とろろ  
りあ  
あめ



中学3年生に配布した、3つ折り「相談カード」。開くと「ひとりじゃないよ」のメッセージと、相談窓口の電話番号やメールアドレスが現れる

令和3年度「いがた・新テーマ型募金」で助成を受けて事業実施した社会福祉法人「新潟いのちの電話」（新潟市）から「ありがとうメッセージ」が県共同募金会に寄せられました。

令和3年度「いがた・新テーマ型募金」で助成を受けて事業実施した社会福祉法人「新潟いのちの電話」（新潟市）から「ありがとうメッセージ」が県共同募金会に寄せられました。

今回配布時に意識調査も行い、約4割の生徒から回答を得ました。それによると、受け取った相談カードについて、7割余りの生徒が「カバンや机の中にしまっている」と答えました。8割の生徒は「いろいろな相談場所があると分かった」「何かあったら相談を考えたい」などと回答しました。

今年度は目標額を200万円以上、参加団体数を30団体以上とします。詳しくは県共同募金会ホームページをご覧ください。



赤い羽根



赤い羽根



## 東北豪雨

# 村上と関川に災害V.C

ボランティアセンター

## ボランティア受け入れ送り出し

8月初旬の豪雨により甚大な被害を被った東北の村上市や関川村では災害ボランティアセンター（V.C）を設置。駆け付けたボランティアの受け入れ、被災地への送り出しを円滑にこなし、復旧作業に大きな役割を果たしています。

豪雨直後の4日、県社会福祉協議会は職員2人を被災地に派遣。現地の社会福祉協議会と協議し災害V.C立ち上げを進めました。

県社協としても災害福祉支援活動本部を設置。支援態勢を整えると、連日、村

上と関川の災害V.Cに職員を派遣しています。

県社協支援本部は、下越を中心にした市町村社協にV.Cスタッフ派遣を要請、快諾を受けました。これにより、県社協と市町村社協の応援スタッフが連日、両

市村の災害V.Cに駆け付けています。応援スタッフは、ボランティアの受け付けをはじめ、被災者宅へのボランティア送り出し、復旧に必要な資材・機材の準備調達など、多様な業務をこなし、災害V.Cの運営に努め

ています。

ています。

豪雨から1週間の11日。この日は祝日「山の日」とあって村上には約360人、関川には約300人と、平日の2、3倍のボランティア希望者が県内各地から駆け付けました。

午前8時過ぎの村上市災害V.C。続々とボランティアが集まりました。「お手

伝いできたらと思って来ました」と話すのは40代の建設業男性で、柏崎市から妻と専門学校生の娘さんの3人で参加したそうです。

地元・村上からという30代女性は小学校教員。「被災された人たちに早く元の生活に戻ってほしくて、自分にできることがあればと思って参加しました」と話しました。一方、下越地方から電車で駆け付けた男子高校生もいました。

ボランティアたちは、作業の説明を受けた後、スコップや土嚢袋などを受け取り、マイクロバスに分乗して被災地へ泥との闘いに向かいました。



新型コロナウイルス感染防止へ、まず検温



検温をパスしたボランティアを受け付け



作業の注意点などをオリエンテーリング



スコップやモップなど資材を受け取り



マイクロバスに乗り「いざ、出発！」(写真はいずれも村上市災害ボランティアセンター)

# 炎天下 泥また泥と格闘

## 「ありがとう」住民の感謝励み

### ボランティア



↑泥が押し寄せた建物。ボランティアらはスコップを動かし続けた＝関川村湯沢

村上市や関川村の豪雨被災地は泥まみれでした。泥をかき出し、水で洗い、汚れた家具や畳などを捨てる。炎天下、ボランティアの活動は泥との闘いで「ありがとう」との住民の感謝が励みのようなものでした。

飲食店には泥をかぶった跡があちこちに残ります。家族が総出で家財を洗ったり、運び出したりしていました。駅前通りの近くの住宅地には1階の畳を撤去し、地面がむき出しとなった住宅もありました。

強い日差しの中、ボランティアらは家主の要請に基づき、泥のかき出しなどに汗を流しました。



→汚れた畳の運び出し。水を吸った畳は重く、男性3、4人掛かりでもやっとならぬ＝村上市荒川地区



建物内から泥をかき出すボランティアら。泥があまりに多く、人手が多くなると対応し切れない＝関川村湯沢



↑一輪車を器用に使い泥出し＝関川村湯沢

↓汚れて捨てられた畳とふとんの山＝関川村高田





新潟ユニゾンプラザ2階の「図書情報ルーム」(通称・ユニゾンの図書館)お薦めの「今月の本」。

**県人先輩の長寿指南**

「そっと無理して、生きてみる」百歳先生の人生カルテ」の表紙に写るのは、聴診器を手にヒマワリのような「100歳の笑顔」を見せる著者、上越市生まれの高橋幸枝さん(1916〜2019年)だ。

戦前、戦後の激動の時代を生き抜いた県人先輩の長寿指南書である。残念なことに令和2(2020)年、103歳の天寿を全うした。

高田高等女学校を卒業後、陸軍省のタイピストとなって中国へ。出会った恩師の一言で医師を目指し、30歳を前に帰国して医学学校に挑戦。医師となってから

は神奈川県で病院を建設、診療の先頭に立つ一方、長く医療法人理事長を務めた。私生活では独身を貫いた。



と述べていた。

続けて「人生、やり直しは利かないが、何歳になっても何かを始めることはできる」とも。言葉通り、80歳になって絵画を習い、日本酒もたしなむようになった。「一生懸命やれば年齢に関係なく形になる」「老いは心から来る」など。県人先輩による長寿生活の指南の数々は一読の価値あり。

**9月のユニゾンプラザ  
認知症支援へ  
今年も橙色に**

**夜間ライトアップ**

9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、認知症啓発シンボルカラーのオレンジ色に新潟ユニゾンプラザ(新潟市中央区)を染めるライトアップが9月21〜27日の7日間、実施されます。

点灯時間は午後5時30分〜午後9時30分の4時間です。

ライトアップは、信濃川に面したユニゾンプラザの館内にライトを設置。点灯するとガラス壁面を通ったオレンジ色の光が建物を包み込みます。

この催しは、館内3階にある「県認知症コールセンター」が認知症への理解や当事者支援、センターのアピールを狙い実施。今年で3年目となります。

**パレット新潟店営業日**



2022年		9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	
				1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10		
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30			

営業時間 11:30〜16:30 □…は休業日

2022年		10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	
						1		
2	3	4	5	6	7	8		
9	10	11	12	13	14	15		
16	17	18	19	20	21	22		
23	24	25	26	27	28	29		
30	31							

福祉の店  
**パレット情報**

**編集後記**

今夏はニュースがひしめいた。ロシアによる軍事侵略が続く一方、7月上旬の白屋には元首相が銃撃された。さらに異常気象のオンパレード。史上最速の梅雨明け、戻り梅雨、2度目の梅雨明け、直後の酷暑、その後、中旬までの長雨…。特に8月初旬の豪雨がひどかった。県内では県北地域に大きな爪痕を残した。住宅や車が泥に襲われ、日常生活を奪われた住民の嘆きはいかばかりだったか。その後は連日の酷暑の中、ボランティアが被災地に駆け付けて泥をかき出し、復旧に尽力した。

多くの高校生も参加した。頭の下がる思いだった。遊びたい盛りだろうに、勉強や部活もあるだろうに。汗を流し、泥と格闘する高校生の姿に胸が熱くなった。善行の生徒たちには輝く未来が待っていると思いたい。陰ながら応援したいと思いたのは小生だけでなからう。

(佐)

この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5584  
発行人／関原 貢  
定 価／5 円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた  
令和4年9月1日発行 (毎月1日発行)  
印刷／島津印刷株